

下田教育旅行

白浜

S H I R A H A M A

白い砂浜とコバルトブルーのコントラストが美しい下田最大のリゾート地。真っ白な砂浜の広がるビーチでの海水浴はもちろん、サーフィン、磯遊び、磯釣り、遊歩道散策など四季を通じて楽しめます。11月から一面を真っ赤な花が咲き誇る「アロエの里」、2000年以上も前にできた伊豆最古の白浜神社、伊豆七島を望むことのできる高根山など見どころも満載です。



白浜海水浴場



白浜神社

白浜のここがすごい

ところてんの材料になる天草。昔は天草漁のおかげで白浜はたいそう裕福な村でした。明治の終わりころから利益がたくさん出たので、教育にお金をかけました。奨学金を出したり、講堂を建てたり、高い給料を出していい先生に来てもらったりしていた。そして1934年（昭和9年）までは税金がありませんでした。

白浜の食

さんま寿司 さんまの押し寿司

北の方から下ってきたさんまは油が抜けて押し寿司に最高。室町時代に食糧不足で困ったとき、白浜神社の神官が海に向かってお祈りしていたら大量のサンマが打ち上げられ、ご飯に載せて食べたのが始まりとされている。昭和30年代後半からはさんまもいなくなり、白浜ではさんま漁をしていないが、さんま寿司は郷土の名物として親しまれている。

ちなみにペリーが持って帰って標本にしたのが白浜のサンマ。なのでさんまの原産地は「日本・下田」になっている。



さんま



さんま寿司



地元お母さん達の味

下田豆知識「世界に誇ろう!! 下田はワカメとヒジキのふるさとだ!!」

1852年、ペリーが黒船に乗って下田にやってきた。その時に日本の生物調査のためにたくさんの動植物が持ち帰られた。その中に下田のワカメとヒジキも入っていたんだ。そのワカメとヒジキを標本にして「ワカメ」「ヒジキ」という学名がついて、原産地は下田となっているんだ。だから、下田はワカメとヒジキのふるさとなんだよ。

白浜の行事

浦初め祭

天草漁の解禁前に天草の豊漁を願って海の神様をまつる

火達祭

白浜神社祭典の始まりを島々の神様に知らせるための火祭り

天草感謝祭

天草漁が安全にできたことを感謝する。10月30日
白浜神社祭典の日に行う

えび大漁祈願祭

10月28日にイセエビの大漁を祈願

境潜り

天草漁が盛んだったころ、隣村との境界線を海の中にも引いたんだって!! けんかになっちゃうからね。わかりやすくするために、境界線上の天草や海藻を先に採っておいたんだ。



白浜の民話

高根山

沖を通る船が嵐で沈没しそうになったとき、高根山頂にともった光を頼って船を進ませていったら無事港に帰ることができたんじゃ。それからというもの高根山は海の安全の神様として、漁師さんたちが縁日（1月24日）にお参りにいったんじゃと。



白浜の史跡

三穂ヶ崎 お台場

お台場とは江戸時代に、外国の船から日本を守るために大砲を置いたところ。三穂ヶ崎お台場は天保14年（1843）に白浜を治めていた水野藩（沼津藩）が作りました。

白浜の知恵

島が近く見えると雨
朝虹の日は洪水、夕虹の次の日は晴れ。
板子崎の立ち雲・・・板子崎に雲がかかると雨が近い。
日照りの時によく雨乞いをした